

© **AAF** 知性あふれるレクリエーションを。 Art & Architect Festa  
NPO/AAF Art&Architect Festa 特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ ウェブ [www.aaf.ac](http://www.aaf.ac) Eメール [info@aaf.ac](mailto:info@aaf.ac)

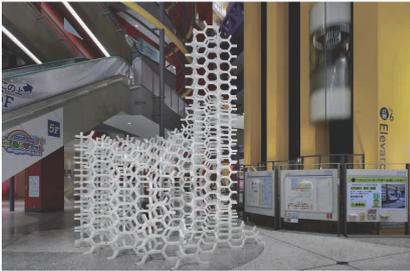
# 1

## 全国の大学生たちが小さな建築空間を日本の聖地を実現する 建築学生ワークショップ

合宿にて制作に挑み、  
建築のプロセスを体験する、  
地域滞在型の  
サマーワークショップ



「最優秀賞作品（日本国際博覧会 2025）」



「優秀賞作品（日本国際博覧会 2025）」



2025年 世界各国を代表する建築家らが仮設パビリオンを設計し、「建築の博覧会」とも称される未来の聖地にて、「1970～2025 建築の博覧会～新たな聖地へ」50年後の未来開催のために建築ができること、をテーマに大阪・関西万博開催の年に開催



提案作品講評会



制作の様子



リユース・リサイクルのための分別作業



2010年「平城遷都1300年祭」の事業として、世界文化遺産(考古遺跡としては日本初)にも指定されている奈良・平城宮跡で開催



2011年 巡賀・経巻湖に浮かぶ「神の棲む島」竹生島(名勝史跡)にて皇殿寺と都久夫須麻神社と共に開催



2015年 開創法会1200年となる100年に1度の年に、和歌山高野山・金剛峯寺(世界文化遺産)と共に開催



2016年 国営飛鳥歴史公園の開園プレイベントとして、奈良明日香・キトラ古墳にて明日香村と共に開催



2017年「古都京都の文化財」の一環としてユネスコの世界遺産に登録された、天台宗総本山比叡山にて延暦寺と共に開催



2018年わが国を代表する神聖な「こころの故郷」、伊勢神宮周辺区域にて「皇位継承、平成最後の夏」に神宮司廳と共に開催



2019年古代より受け継がれてきた「むすび」の御重力を司られる神聖な場所、出雲大社と共に「平成の大遷宮」完遂の年に開催



2020年平成元年国内初の「ブリタカー賞受賞式」が行われた建築の聖地に於いて、約30年を経て、真大寺と共に開催



2021年築産百年を迎えられ、本殿以下36棟が重要文化財に指定された聖地に於いて、明浄神宮と共に開催



2022年503年海浜に社殿を創建したことに始まる、宮島・嚴島神社と共に「大島居 令和の大改修の年」に開催



2023年吉布・京都の基点となる「御室御所」、仁和寺と共に「弘法大師(空海)生誕1250年」の年に開催



2024年多くの修験者の霊場として発展してきた寺院、醍醐寺と共に「開山より1150年」の年に開催

予定開催地(候補) 2026年 法隆寺(奈良) 2027年 熱田神宮(愛知) 2028年 太宰府天満宮(福岡) 2029年 伊勢神宮(三重) 2030年 出雲大社(島根)  
毎回 参加学生数 60名(公募により選出) | 開催時期 夏開催 | アドバイザー: 地元伝統技術者、組織設計事務所、ゼネコン、建築エンジニアリング企業他 | 公開プレゼンテーション開催日 参加数 300名(2025年開催実績)

# 2 建築家への登竜門

## 35歳以下の若手建築家による建築の展覧会

若手建築家を  
公募による審査で選出  
大阪駅前・うめきた  
シップホールにて  
毎秋に開催



2010年開催の様子 (2010年9月29日-10月11日)



2012年開催の様子 (2012年9月7日-10月6日)



2015年開催の様子 (2015年10月16日-31日)



2016年開催の様子 (2016年10月14日-30日)



2017年開催の様子 (2017年10月20日-30日)



2018年開催の様子 (2018年10月19日-29日)



2019年開催の様子 (2019年10月18日-28日)



2020年開催の様子 (2020年10月16日-26日)



2021年開催の様子 (2021年10月25日-25日)



2022年開催の様子 (2022年10月18日-28日)



2023年開催の様子 (2022年10月16日-26日)



2024年開催の様子 (2024年10月18日-28日)

### 過去の出展者



2010-11出展者  
大西麻貴



2017-18出展者  
三井領



2020出展者  
山田紗子

### 2025年開催の様子 (2025年10月17日-27日)

10月25日シンポジウムIIの様子



10月18日開催のシンポジウムIの様子



展覧会会場の様子



会場内でのギャラリーイベントの様子



ギャラリートークの様子



イブニングレクチャーの様子

11日間の開催期間中、来場者数 1日平均 953名 期間中 10,485名 (2025年開催実績)

# 3 世界で活躍する建築家が登壇

## 建築レクチュアシリーズ 217

2ヶ月に1回  
夜7時から  
2人の建築家が  
1組のゲストをお招きして  
年7回開催

どんな少年・少女時代でしたか？  
how did you spend your childhood years?



「2016年7月8日 ゲスト建築家:SANAA」



「2021年11月19日 ゲスト建築家:安藤忠雄」



「2025年10月17日 ゲスト建築家:藤本壮介」

2024年平均入場者数 371名(実数・関係者含む)

実績比率 (アトリエ・組織設計事務所 25% | ゼネコン・ハウスメーカー・インテリア関係 18% | 官公庁団体・大学学校関係者 12% | 一般その他 45%)

# 4 6つの分野のクリエイターが登壇

## Aレク



美術家 名和晃平



ファッションデザイナー 森永邦彦



グラフィックデザイナー 原研哉



クリエイティブディレクター 佐藤可士和



建築家 田根剛



構造家 稲山正弘



'25日本国際博覧会プロデューサー 落合陽一

美術家  
ファッションデザイナー  
アートディレクター  
インテリア・プロダクトデザイナー  
建築家、構造家  
第一人者が語る

設立1周年記念イベントとして発足した「Aレク」は、「Aレク」と名称変更し、6つのカテゴリから主要なクリエイターの方たちを、毎年・春に開催する連続トークイベント。建築やデザインに触れる「小さくて身近な「交流や集会の場」となることを目指していきます。



2024年1月26日  
ゲスト: '25日本国際博覧会プロデューサー 宮田裕章 開催の様子



2025年1月23日  
ゲスト: '25日本国際博覧会プロデューサー 小山薫堂 開催の様子

# 5 ディナーを楽しみながら

## 90 minutes

若手建築家の  
プレゼンテーションを  
ディナーを楽しみながら聴く  
聴講者が主役の  
イブニングレクチュア



「2016年7月14日 開催の様子」



このレクチュアシリーズは、現在活躍をされている建築家や、建築に興味を持たれる方たちに、食事を楽しんでいただきながら、レクチュアをお聞きいただく企画です。

年4回、午後7時から、活動をはじめたばかりの若手建築家の最新プロジェクトや、処女作となった作品の手法やアプローチ、これからの建築への想いをお聞きします。

レストランでの開催から、食事を楽しんでいただきながらの和やかな雰囲気の中、モデレーターがゲスト建築家のオリジナリティを引き出し、参加者と一体になっていくような建築家や建築関係者の交歓の場を目指すのと同時に、関西で発信する建築の活動がさらに盛んになることを期待して取り組んでいくことを意図としています。

# 知力が集まるレクリエーションを起こすことから始めています

## Starting from setting up recreation to collect brightest intellects

### Q. AAF への参加を検討する学生に伝えたいメッセージは何ですか？



AAF 第11-16期運営スタッフ  
杉田美咲(すぎた・みさき) (大阪公立大学修士2年)

AAFでの活動は、建築界のあらゆる世代や芸術・美術・デザイン分野で活躍されている方々と直接関わることができます。建築家の皆様と一緒に取り組まさせていただく中で、社会性をもった姿勢や所作から社会奉仕の大切さを学び、自身の人生軸や価値観が変わるほどの大きな学びを得ることができます。体験者としてではなく当事者として取り組むことで、学校の枠組みでは得ることのできない、かけがえのない「自分身」としての経験を積むことができる場所だと、実感しています。情熱を持って行動し、自身の可能性を広げる貴重な機会を手にして欲しいです。

### Q. AAF の活動からどんな影響を受けましたか？



AAF 第14-16期運営スタッフ  
上山澄空(うえやま・そら) (近畿大学3年)

AAFの活動はさまざまな方たちのご協力によって成り立っています。自身がやりたいことも自分一人だけでは完結することができません。何事も、スタートからゴールまで走り切るには、その道のりの中で多くの人の力を借りることになります。そして同時に、私自身も誰かの力にならなければいけません。私はAAFの活動を通して、支えてくださる方々の存在の大きさ、そして自身が今、行っている行動が他者の何に役立つのかを想像するようになりました。過程の一部が抜け落ちるとプログラムは完成しない。その事実が他者と協力する大切さを教えてくれます。

### Q. AAF の活動の魅力は何ですか？



AAF 第15-16期運営スタッフ  
阪上ちひろ(さかうえ・ちひろ) (大阪公立大学3年)

自分の将来のために、経験のためにという気持ちからAAFの活動に参加しましたが、自分が行っている小さなことが各事業が進行する過程の一部となり、実行に繋がる経験を繰り返しているうちに、周囲からレスポンスをもらえる環境のありがたみに気づき、自分も社会に対して何かができるかと思うようになりました。また、建築をはじめとした様々な分野を専門とする方々と接することで、多様な角度から物事を見る視点を知ることができ、社会や未来に向き合う姿勢を学べる、実地でしか得られない経験を積めることが魅力です。

#### 活動の様子



建築学生ワークショップ参加学生とAAFスタッフ



U-35出展者とAAFスタッフ



217で両代表理事とAAFスタッフ

#### 法人概要

特定非営利活動法人 (NPO 法人) アートアンドアーキテクトフェスタ (日本語表記)  
Art & Architect Festa (英語表記)  
AAF (エーエーエフ) (略称)

〒550-0015 大阪市西区南堀江2丁目9-14  
電話 06-4390-7055 ファクシミリ 06-4390-7056  
E ページ info@aaf.ac ウェブページ www.aaf.ac

創業 2009年6月4日 法人認定設立 2010年6月4日  
許可番号特定非営利活動法人設立認証(京都)2府推第5号の54  
特定非営利活動法人定款変更認証(大阪)指令市民第1284号

#### (目的及び事業)

この法人は、芸術及び建築文化の振興に関する事業を行い、それぞれの地域における芸術、デザイン創作活動の支援、及び建築家や美術作家の人材育成を図り、社会における芸術及び建築文化の発展と普及に寄与することを目的とします。この法人は、上記の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を主に行います。

- (1) 建築、芸術、デザイン教育の推進を図る活動
- (2) まちづくりや保存の推進を図る活動
- (3) 学術、文化、芸術の振興を図る活動
- (4) 国際協力の社会的な活動
- (5) 前各号に掲げる活動を行う団体の企画運営又は活動に関する連絡、助言又は支援により援助の活動

この法人は、上記の目的を達成するため、次の事業を行います。(特定非営利活動に係る事業)

以下は、建築及び芸術、デザインに関連する事業を原則とする。

ワークショップ事業、企画展覧会事業、フォーラム事業、コーディネート事業、コンペティション開催事業、地域再生、並びに保存事業、国際交流事業、情報収集・発信・調査研究事業、建築家・芸術家、デザイナーの創作活動の支援、国内外の建築家・芸術家の発表機会の提供、文化を社会へ繋ぐ各種アウトリーチ活動、都市計画・地域計画、企画及びプロデュース・計画立案・策定調査、博覧会・イベントの企画、コンサルタント事業、その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

#### 役員一覧

(2025年11月1日現在)

特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ  
NPO/AAF 役員一覧

代表理事	平沼孝啓	建築家	平沼孝啓建築研究所
副代表理事	藤本壮介	建築家	藤本壮介建築設計事務所
名誉理事	伊東豊雄	建築家	伊東豊雄建築設計事務所
名誉副理事	建昌哲	美術評論家	草間彌生美術館長、京都芸術センター館長
	南條史生	美術評論家	森美術館 特別顧問
名誉顧問	太田伸之	実業家	松屋顧問
理事	五十嵐太郎	建築批評家	東北大学 教授
	稲山正弘	構造家	東京大学 名誉教授
	腰原幹雄	構造家	東京大学 教授
	佐藤淳	構造家	東京大学 准教授
	陶器浩一	構造家	滋賀県立大学 教授
	林憲吾	建築史家	東京大学 准教授
幹事	佐野吉彦	代表取締役社長	安井建築設計事務所
	千鳥義典	最高顧問	日本設計
監事	本多友常	建築家	和歌山大学 名誉教授
	横山俊祐	建築家	大阪公立大学 客員教授
	平田晃久	建築家	京都大学 教授
	吉村靖孝	建築家	早稲田大学 教授

